

クルーズ船社が 寄港する地域に求めるもの



～寄港地決定までのプロセス～

1. 客船が寄港する方法は

■ 岸壁へ着岸

例) 広島、糸崎、高松、
松山、岩国、宇野 他



■ 沖に錨泊して小型の船（通船）にて上陸

例) 鞆の浦、生口島（瀬戸田）、
大崎下島（御手洗）、
小豆島、宮島



2. 寄港への前提条件

- 岸壁へ着岸
 - 安全に寄港できる岸壁の有無、防波堤の状況
 - タグボート等の有無
 - 貨物船と岸壁共用の場合、岸壁使用の調整
- 通船利用の場合
 - 錨泊水域利用に関する漁協との調整
 - 上陸場所の選定
 - 現地の上陸用小型船、台船(本船・通船間の乗下船用)の有無



台船(ポンツーン)

3. 観光資源の魅力（名所）

- 世界遺産（例：宮島）
- 自然の景勝地《桜・花・紅葉を含む》
- 歴史的、文化的な町並み（例：伝統的建造物群保存地区：豊町（御手洗）竹原、倉敷等）
- 海水浴場（夏季限定 家族向け）



3. 観光資源の魅力（イベント）



- 花火、お祭り、伝統文化・芸能、ひな祭り
- 特別イベント（例：瀬戸内国際芸術祭）
- 話題性（例：TVドラマ等のロケ地等）

3. 観光資源の魅力（その他）

- 独自性（例：ベネッセアートサイト、旧海軍兵学校、平山郁夫美術館 他）
- テーマ性（例、朝鮮通信使、村上水軍 他）
- 食



4. 近郊に港が無い場合は？ 港周辺に有名な観光資源がない 場合は？

- 港を起点に往復約8時間で移動・観光が可能地域であれば、観光バス・地元の観光船を利用して訪問は可能。

⇒ 近隣市町村間の広域連携で魅力を増加。



5. 寄港地に協力いただきたいこと

- 錨泊水域利用に関する漁協との調整
- 現地の下見(港湾施設・観光箇所)への協力
関係者の紹介・取次、観光箇所・食事場所への案内
- ツアー企画の提案
地元ならではののお勧め観光箇所、体験プラン、
乗船者の為に特別に体験できるもの
- お客様に特別感を与えるもの、お勧めの昼食場所
- 地元の方と乗船客との触れ合い・交流プランの提案
- 自由行動者向けプランの提案

6. 歓迎イベント ～寄港地の印象度アップ～

地元の方によるおもてなし、
乗船客の触れ合い、
その土地らしさの演出

■ 入出港時

- ▶ 郷土芸能披露、ブラスバンド、太鼓の演奏、合唱



6. 歓迎イベント ～寄港地の印象度アップ～

地元の方によるおもてなし、
乗船客の触れ合い、
その土地らしさの演出

■ 入出港時

➤ 市民の方のお出迎え・お見送り



6. 歓迎イベント ～寄港地の印象度アップ～

地元の方によるおもてなし、
乗船客の触れ合い、
その土地らしさの演出

- 入出港時
 - 漁船・小型船の併走



6. 歓迎イベント ～寄港地の印象度アップ～

■ 寄港中

- 伝統芸能・工芸の体験教室
- 地元ガイドや学生などによる徒歩散策
- 交流イベント



6. 歓迎イベント ～寄港地の印象度アップ～

- 物産販売・試食・試飲コーナー
 - お土産品・地元の特産品をPR



⇒ 寄港地の方にとっても楽しめるイベントに